

八正十四年三月十五日發行(十五日發行)

良改の路道

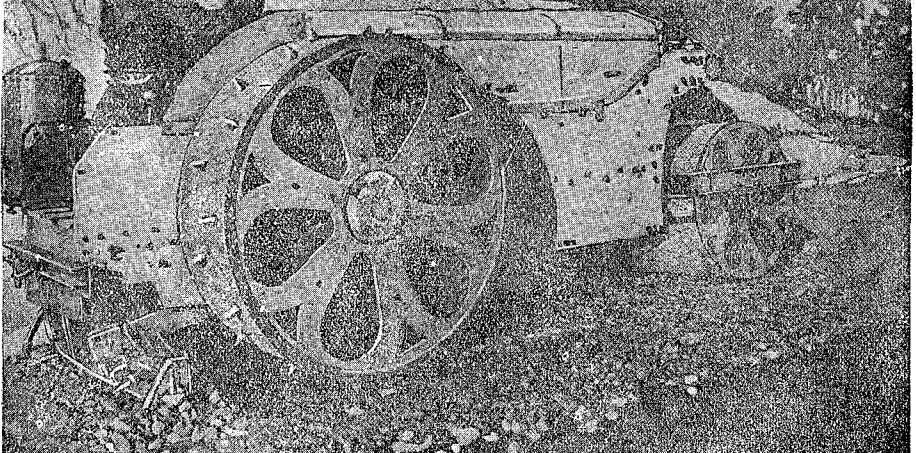
VOLVⅢ GOOD ROADS NOⅢ



號三第卷七第

行發會良改路道

THE HUBER MOTOR ROAD ROLLER



店理代總
大 社會式株産物野淺 丸東
阪 部 械 機 内京

EASY TO
START -
ALWAYS
READY TO GO!



セメント工業株式會社

路面鋪裝用
 室内床張用
 セメント製壓搾敷瓦
 其他セメント加工品各種

東京市深川區東扇橋町三十二番地
 電話本所長三八三二番

アスファルトモタル用

寒水石粉

生産額一百万噸
 質最優價額至廉

各種石粉。各種碎石製造

東京市深川區東扇橋町卅二番地

旭礦末資料合資會社

電話本所三八三二番

工場所在地

第一工場 茨城縣下孫驛前
 第二工場 茨城縣大甕驛前

◎工場ニ於ケル所用機械ノ重ナルモノハ左ノ如シ

- 一 ジャレートリクラツシヤー
- 一 クラツシングロール
- 一 スチールボールミル
- 一 エイヤセバレーター

土木攻法會編輯

現行土木法令 完

四六判 三百七十頁

定價 一圓八十錢

送料 六錢

近時土木に關する法令は漸く整備せらるゝに至つたが、他の法令に於けるが如く單に基本法と其の施行令とに依りて制法の目的が達せらるゝのでなく、基本法に伴ふ幾多の附屬命令が公布せられ、更に訓令等の形式に依りて立法の精神又は行政上遵守すべき要點等が示されて居るのであつて、此種行政の實務に執筆する士は勿論民間土木起業を計畫し又は經營する士は此複雑な法律命令又は訓令等の規定に従はなければならぬ、従つて之を蒐集分類して斯業に従事する者の指針たるべき法令集の刊行を必要とする所以である。弊房は此必要に應ずる爲斯界の權威者土木攻法會に依囑し、更に内務省土木事務官田中好氏の嚴密なる校閲を得て本書を發行するに至つたのである。

本書收むる所は **道路 軌道 河川 港灣 運河 砂防 水道 下水道 發電用水利使用 公有水面埋立 國庫補助 土地收用 自動車取締** に關する法律勅令省令訓令等を細大漏す所なく蒐集分類し、ポイント活字を以て印刷し紙數の減少に力めたが爲に巷間に發賣さるゝ浩瀚なるものと異り携帶至便である。敢て江湖に薦む。

常 磐 書 房

東京市小石川區諏訪町五十六
電話 小石川 二三七九番

日本工人俱樂部編纂

土木講義錄

速成科補缺募集

誌代送料共

一册金壹圓・三册金貳圓八拾・六册五圓拾錢・二十册拾五圓錢

本講義の特徴 執筆者は皆日本工人俱樂部の關係者であり無報酬を以て獻身的に執筆されて居ります、夫々斯界の専門家であつて新進氣鋭の士であります。

尙又讀者には講義によつて知識を得るに止まらず日本工人俱樂部の事業たる職業紹介とか購買とかを利用する事も出来ませう。

修業年限 從來三ヶ年の課程を一ヶ年半にて完講の豫定で、最も初等程度のものより大學程度に亘るべき短期にして、然かも内容充實せるものとする筈である。尙一定の期間を定めて技術者資格檢定試験を行ひ、合格者には合格證書を附與する規則もあるのである。

(大正十四年度檢定試験廣告は最近官報及び雜誌工人に本年五月下旬施行)

◆ 内容

- 工業學 水理都市計畫
- 工業力學 鐵筋混凝土學
- 河川學 內務技師蒲
- 地質學 內務技師青木
- 地下學 復興局技師金子源一郎
- 鐵道學 鐵道技師山中良樹
- 鐵道學 帝大助教授山崎匡輔
- 農用地震學 東京府技師藤森誠之
- 農業學 東京市技師程島周造
- 道路學 東京市技師五郎
- 電氣學 東京市技師寶來勇四郎
- 其他諸表參考資料共(一册菊版一行四十八字詰十九行百六十頁乃至二百五十頁全册約三千六百頁)
- 貳錢切手封入御申込次第内容見本送附
- 初號ヨリ毎月一冊ヅ、又ハ全部拾八冊ノ内發行濟分(大正十四年三月)拾貳冊一時郵送以下毎月一冊ヅ、完講迄送本

- 帝大助教授 山口 武之助
- 內務技師 宮本 三郎
- 逓信技師 岩崎 富久
- 東京市技師 谷井陽之助
- 東京市技師 田中 好
- 內務技師 佐藤 利
- 土木事務官 田中 好
- 內務技師 藤原 利
- 內務技師 鈴木 孝藏
- 內務技師 鈴木 孝藏
- 高野 弦次
- 久保田 駿
- 帝大助教授 山口 武之助
- 內務技師 宮本 三郎
- 逓信技師 岩崎 富久
- 東京市技師 谷井陽之助
- 東京市技師 田中 好
- 內務技師 佐藤 利
- 土木事務官 田中 好
- 內務技師 藤原 利
- 內務技師 鈴木 孝藏
- 高野 弦次
- 久保田 駿

發行所

東京市小石川區川會社 東京市小石川區川會社 東京市小石川區川會社

振替會社 振替會社 振替會社

電話 電話 電話

五〇二六三六 五〇二六三六 五〇二六三六

道路改良パンフレット

昨夏本會が開催したる第二回道路職員講習會に於て各講師が講述せられたる講義は其の内容豊富にして且新鮮、權威ある論議なることは敢て呶々を要せず、本會は斯くの如き貴重なる研究資料を空しく篋底に死藏するに忍びず、乃ち著者に乞ふて其の筆記に加筆更正を遂げ之を版行して廣く江湖に薦めんとす。著者は何れも我國道路問題に關し深き造詣を有する學者又は實際家にして斯界著名の士なること改めて茲に紹介するを要せざるべし、願はくば左記要領に依り配本申込あらんことを。

道路改良パンフレット

第一輯	橋梁に就て	工學博士	物部	長穗
第二輯	地質學	工學博士	平林	武
第三輯	道路の設計	工學士	佐藤	利恭
第四輯	道路の鋪裝	工學士	牧野	雅樂之丞

集募込申布配トツ

第五輯 道路法

土木事務官 田中好

第六輯 近代道路の特徴

工學博士 牧彦七

東京市の道路改良に就て

工學博士 竹内鋤彦

第七輯

横濱横須賀間の國道改築
工事の實施に就て

工學士 平川保一

京濱國道工事の實施に就て

工學士 大谷保藏

配本希望者は左記要領により豫め御申込相成度し

一代金 一部金八十錢(外に郵税金二錢)の豫定

代金は配本の際適當の方法に依り申受くるものとす

二 申込方法 パンフレットの輯號冊數及配本先を明記すること

三 申込期限 四月末日限(期限後の申込者に對しては配本し難かるべし)

四 申込先 東京市麴町區内務省内 道路改良會

道路改良會



道路の改良 第七卷第三號目次 大正十四年三月十五日發行

口 繪

△完成期に近き京濱國道 其一
△同上 其二

論 說

◎ 聯絡の缺けた道路政策 衆議院議員 堀田義次郎 (二)

農村の發展は木に據つて魚を求むる如し

談 叢

◎ 小運送と道路 (二) 鐵道公認運送組合 中央會會長 中野金次郎 (七)

時 論

◎ 乗合自動車營業濫許呪咀の嘆聲 一 記者 (三)

研 究

◎ 大倫敦の交通對策 復興局書記官 菊池慎三 (一七)

◎ 我田引道論 ××新聞記者 藤尾哲 (三〇)

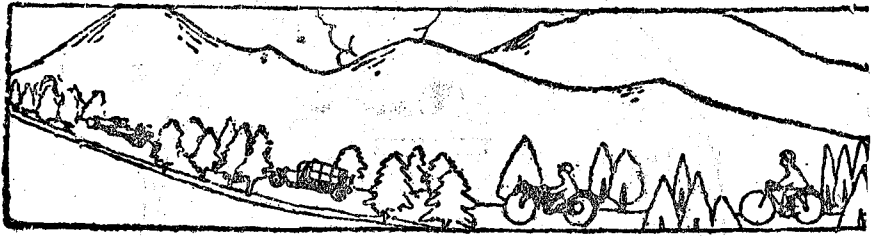
◎ 材料の上に見る路面の性質に就て (二) 内務技師 三木巳代吉 (二五)

◎ 軌道建設と近代道路 (三) 内務技師 佐藤利恭 (三五)

紹 介

◎ 伊豆東海岸府縣道震災復舊工事に就て

静岡縣技師 川勝 忍 (五)



史料

◎沖繩縣道路橋梁開通沿革

漫錄

(一五)

◎其の後の道路擴張

◎勇退した府縣土木課長(二)

通信

高田生(七)
田政生(七)
僧(七)

◎東京だより
◎倫敦だより
◎宮崎だより

内務技師 田三浦中七生郎生(六)
宮崎縣廳 宇高七生(六)

海外事情

◎「アトランタ」市の移動式路下歩道計畫

法令

(一〇)

◎質疑應答三件

彙報

(一〇)

△町村役場の所在地を府縣道路線の起終點に採擇の陳情
△荷車の輪帶幅制限に關する道路取締令の改正問題
△悼まじき奥村幹事の訃報
△軌道事務取締方法改正の陳情
△内務省土木試驗所の近況

叙任辭令

附錄

◎最近道路統計 (一)

(一)

錄

(一五)
(一六)
(一七)
(一七)



設立 明治四十一年八月

資本金 四百萬圓

製産額 七拾萬樽

土佐セメント

本社工場 高知市外潮江村

出張所

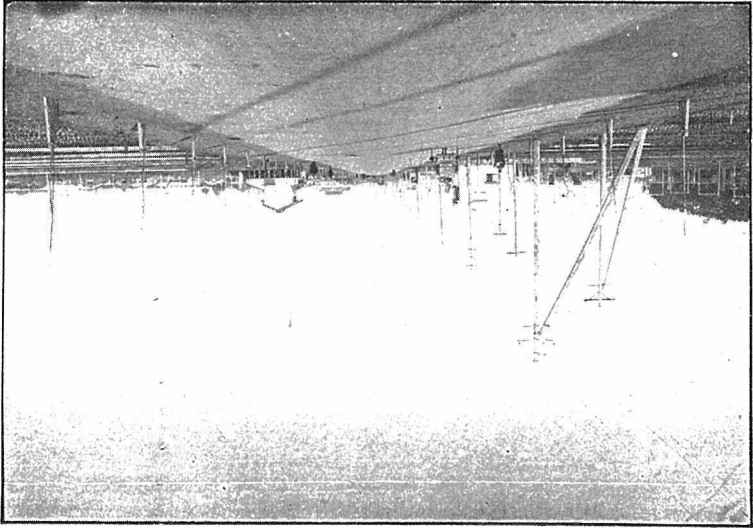
東京市京橋區三十四間堀二丁目十五番

電話銀座 特長 三〇三五番
長 一一〇六番

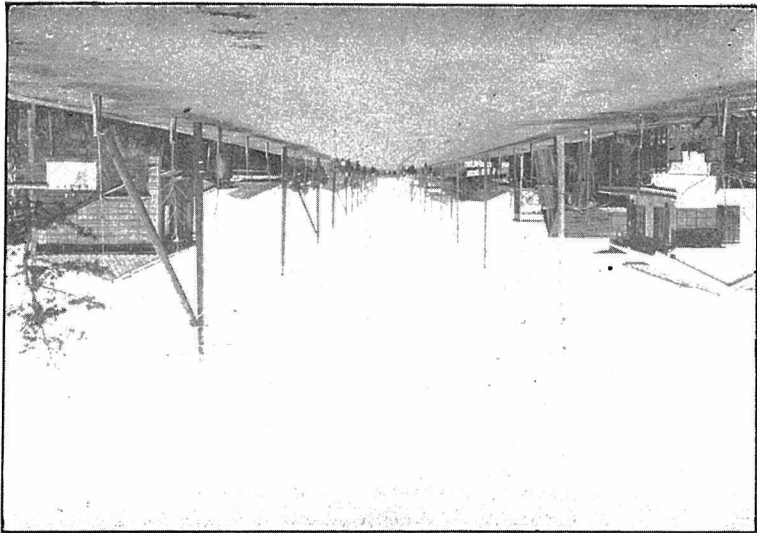
大阪市西區北堀江通り四丁目

電話新町 特長 二二三二〇番
特長 一一五五番

上 回



(内地縣川奈神) 道國濱京き近に期成完



大正十四年

道路の改良

三月十五日

第 第

七 三

卷 號